

令和6年度 事業計画書



公益財団法人

大泉町スポーツ文化振興事業団

令和6年度 公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団 事業計画

■ 経営方針

令和6年度は5年間の指定管理期間最終年度となり、次期の指定管理申請を見据えた振興事業及び活動拠点の運営に取り組んでまいります。昨年5月に新型コロナウイルス感染症は感染症法上5類に移行され、3年という長きにわたり失われた日常を取り戻すことが出来ました。そうした中で、今年1月には令和6年能登半島地震が発生しました。東日本大震災から13年が経過し、薄れかけていた防災に対する意識を強く感じさせる機会となりました。指定管理者としてコンプライアンスの強化や、VUCA時代と呼ばれ変化の激しい時代に対応することが求められますが、経営理念の基、原点に立ち返りひとつ一つ丁寧に私たちの使命を遂行してまいります。

一方、公益法人として当事業団は昨年11月に設立40周年という節目を迎えることができました。公益法人制度改革から10年が経過し、多様なニーズに柔軟かつきめ細やかに対応できる「公」の機能が重要となっています。これからの公益法人は、社会的課題に取り組む事業を継続的・発展的に実施し時代に合わせた改革を進めていく必要性が求められています。

経営面においては、エネルギー問題や物価の高騰などから厳しい経営状況が続いています。収入面の強化、助成金などの活用、最大限のコストの削減を図りながら、この最終年度を乗り越えてまいります。

1 4つの重点施策

(1) スポーツ

①スポーツ施設の「安心・安全」を守る

- ・町民の皆さまが安心して施設を利用できるように、老朽化した施設の維持管理、予防保全
- ・大泉町指定緊急避難場所、指定避難場所としての役割を全うする

②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・幼児期・学童期の運動、スポーツの推進
- ・子どもの体力向上に向けたスポーツ機会の充実
- ・成人のスポーツ参加機会の拡充
- ・高齢者の体力づくりやシニアパワーの発揮の場の提供

③スポーツによる地域活性化

- ・人を重視（スポーツをする人・みる人・ささえる《育てる》人）したスポーツ振興
- ・企業、関係団体との連携、協働

④総合型地域スポーツクラブ設置に向けての取り組み

- ・子どもから高齢者までの町民が集い、興味・関心・体力・技術に応じて複数の種目を楽しむことのできるスポーツクラブ設置に向けた取り組み

(2) 文化

- ①「芸術・文化の発信」拠点形成
 - ・質の高い芸術文化を発信し「感動の場」、「創造の場」、「協働・多文化共生の場」の推進
- ②「次世代にバトンをつなぐ」育成強化
 - ・子どもの心豊かな成長のため、教育振興を念頭においた育成強化に努め、「みんなで創る、個性輝き、希望あふれるまち」につながる人材育成の推進
- ③「町民が集い、愛される施設に」
 - ・お客さまを「笑顔」でお出迎えし心の通った接客、「安らぎ」や「癒し」の提供
 - ・「ふれあいの場」として、町民の方々との絆を深められるような施設づくり
 - ・大泉町指定緊急避難場所、指定避難場所としての役割を全うする
- ④「シニアパワー」の発揮の場の提供
 - ・健康寿命延伸を見据えたシニア世代を対象にした事業の提供
 - ・シニア世代の方々の知識や能力を発揮できる仕組みづくりや場の提供

2 経営の強化

(1) コンプライアンス強化

昨今のコンプライアンス問題は法人の存亡に関わることであるため、新公益法人制度の指針に基づき、信頼確保に向けた不祥事防止、財務規律の充実、自律的なガバナンス充実などに取り組んでまいります。具体的な対策として、規程類・業務マニュアルの見直し、経営理念の浸透、CSR活動の推進、定期的な職員教育など実施いたします。

(2) 人材マネジメント

経営基盤づくりの上で人材育成は最も大切な要素だと考えます。令和4年度は人事評価制度の見直しを行い、令和5年度は当事業団の経営理念を具現化するため、人材育成、職員採用、人事評価の軸となる「事業団人事ポリシー」を定めました。大泉町のスポーツ、芸術・文化振興を担う専門組織として、町民の皆さまに満足感、安心感をもってご利用いただけるよう長期的・継続的な人材マネジメントを進めてまいります。

(3) 財務管理

令和4年度からのエネルギー危機など新たな課題が加わり、過去に例のない厳しい財政状況になっております。今後はコロナ禍や高齢化による施設使用料、事業収入の減少に歯止めをかけ、ポストコロナに繋げる取り組みを進めてまいります。また、国や民間の助成金の活用や、現状に即したコストの削減を図りながら組織全体で対応してまいります。

(4) 施設運営

町民体育館を中心としたスポーツ施設では「スポーツでつなぐ活動拠点の運営」として「親しみ」を感じられ「気持ちの良い」接遇、「公平でやさしい」ユニバーサルサービスの提供、「思いやり」が感じられる利便性の向上。洋泉興業大泉町文化むらでは『コミュニティと創造性を育む「文化むら」の運営』として「温もり」を感じられる「感じの良い」接遇、「公平でやさしい」ユニバーサルサービスの提供と「思いやり」が感じられる利便性の向上、利用者のニーズを捉え、より高いレベルへ導く文化活動の支援。上記の第5期指定管理申請書に掲げたスローガンを念頭に、ポストコロナの施設運営を進めてまいります。

スポーツ

■ スポーツ関係の特記事項

取 り 組 み 内 容
より安全でスポーツのしやすい環境作りを目指し、誰もが安心して施設利用できるように運営します。
幅広い方々のためのスポーツを通じた健康づくりとして、新たな事業も展開し、利用者数増を目指します。

■ 事業概要

(1) スポーツの普及及び推進【公益目的事業】

ア 健康増進支援事業

気軽に楽しめるスポーツを通じ、町民の皆さまの「こころ」と「からだ」の健康増進を目的とした事業。大泉町のアンケート調査結果でも高い割合を占める「子どもから高齢者までスポーツを楽しめるまち」の実現を目指し、幼少期からスポーツをする機会の提供、高齢者の健康寿命延伸支援など、幅広い方々のためのスポーツを通じた健康づくり・コミュニティづくりの確保に努めます。

【自主事業（指定管理事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
1	① 4月～ ② 6月～ ③ 9月～ ④ 12月～	骨盤リンパストレッチ教室①～④ (各10回シリーズ)	60名	ストレッチ体操により身体の柔軟性を向上させながら、骨盤と肩甲骨周りを中心に、わき下や足の付け根のリンパの流れを改善し「疲れやすい、脚がだるい、むくみやすい」などの解消法として女性を中心に人気の教室。
2	① 6月～ ② 10月～ ③ 1月～	筋膜リリース&ヨガ教室①～③ (各4回シリーズ)	25名	肩こりや腰痛を抱える方など、筋膜を正常に戻す事で正しく筋肉が動くように体をほぐした後、ヨガも行い相乗効果でリラックスしながら、健康を保つ事を目的とする。
3	8月～9月	しなやかな身体づくり教室	15名	ピラティス運動を通して、自身が一番機能的に動けるように、骨盤・脊柱を本来の正しい位置にセットすることを目的とする。心と身体が調和された動きを習得することができるエクササイズで、定期の運動教室の枠で大泉町と共催予定。
4	9月～11月	もっと速く走れる！走り方教室 協力：SUBARU陸上競技部	50名	SUBARU陸上競技部の指導のもと、小学生を対象に運動会や持久走大会などを目指して、走り方を学ぶ。

【 振興事業（補助金事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
5	4月～3月 (年間16回)	ウォーキング教室	15名	身体活動や運動は、健康増進を形成する基本要素であり、ウォーキングは特に日常に取り入れやすいため、正しいウォーキングの仕方や工夫等を紹介し、楽しみながら体力の低下を防ぐことを目的とする。
6	10月～11月	リラクゼーションヨガ教室 (月4回程)	15名	ヨガのストレッチや呼吸で、ストレスや疲れを改善し、心身の相互作用による健康増進を目的とする。
7	9月	ダンス教室	30名	子どもを対象に、運動が苦手でもダンスの楽しさに触れながら、運動能力の向上を目指す。
8	11月	金山ハイキング	15名	野外活動を通じて、自然にふれ、楽しく歩いて、ウォーキングのみでは得られない達成感を味わいながら、いつまでも健康な心身を保つことを目標とする。
9	1月～2月 (全4回)	ボクササイズ教室	20名	日常の運動不足解消を目的とし、音楽に合わせてキックボクシングの動きを行い、ストレスの解消や脂肪燃焼を目指す。

イ スポーツ普及事業

国のスポーツ振興基本計画で課題として挙げられている「スポーツ振興を通じた子どもの体力向上」や「生涯スポーツ社会におけるスポーツ環境整備の充実」に着目し、町民の皆さまのライフステージに応じたスポーツ機会として、子供たちが、夢を持ってスポーツに取り組めるキッズ・夢プロジェクト事業の展開や、年齢を問わず誰でも・いつでも参加できる、スポーツができる環境づくりの確保、生涯スポーツの推進に努めます。

【 自主事業（指定管理事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員 等	内 容
1	未定	救急救命講習会	20名	自動体外式除細動器（AED）を使用した救命処置の講習。
2	12月～1月	《キッズ夢プロジェクト》 第22回大泉町少年野球教室 協力：SUBARU硬式野球部	2チーム	SUBARU硬式野球部の指導による、町民少年野球チームを対象とした野球クリニック。
3	2月	カナディアンボールホッケー教室	24名	カナダで人気のあるスポーツ「ボールホッケー」を通して、活きた英会話を使用しながら身体を動かし、健康的にスポーツを楽しむことを目的とする。
4	随 時	スポーツ体験事業	2～3種目	各スポーツ競技を体験してもらい、チームや団体へ加入しやすいきっかけづくりをする。

【 振興事業（補助金事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
5	3月～4月	大泉町少年野球大会	なし	本大会をとおして、技術・体力の向上並びにスポーツに対する理解を深め、あわせて健全な青少年の育成を図ることを目的とする。
6	6月～7月	ボッチャ教室	20名	パラリンピック正式種目である「ボッチャ」は、老若男女・障がいのあるなしに関わらず、すべての人が参加できる為、大泉町でも交流を深めながら、体験してもらう事を目的とする。
7	9月	《ニュースポーツ普及プロジェクト》 第28回大泉町民スポーツ・レクリエーション祭 共催：大泉町教育委員会・大泉町体育協会	なし	第9回全国スポーツ・レクリエーション祭ソフトバレー大会を記念とした軽スポーツ大会。町民の交流を図るとともに、生涯スポーツの定着を目的とする。
8	12月	第48回大泉町マラソン大会 共催：大泉町・大泉町体育協会	なし	町体育協会との共催。1.5km/3km/5kmの各コースを年齢性別を分けて実施。

ウ スポーツ観戦事業

文部科学省のスポーツ立国戦略の基本的な考えに則り、「スポーツを観る人」にスポットを当て、トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦など、普段スポーツを観て楽しむ事が無い方や観に行けない方にも、競技が行われている会場に出向き観戦する機会を提供したり、町内施設で開催する事で身近に感動の場を提供し、人々が生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境を提供し、スポーツの振興に繋がります。

【 振興事業（補助金事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
1	11月	スポーツ観戦ツアー (大泉町関連企業運動部出場時)	未定	地元企業の実業団スポーツチームを、直接会場に行き応援する機会の提供をし、町全体で盛り上げる事を目的とする。

エ その他事業

【 事業団スポーツ事業（事業団支出事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
1	7月	第36回群馬県市町村対抗ゴルフ選手権 大泉町予選会	なし	競技ゴルフの底辺拡大を図るため、予選会で3位以内の方を上毛新聞主催県市町村対抗ゴルフ選手権大会の大泉代表選手候補として推薦する。

(2) スポーツの情報等の収集及び提供【公益目的事業】

ア 広報誌「フレッシュおおいずみ」の発行

【振興事業（補助金事業）】

地域スポーツの活性化を目的とし、大会結果の掲載や大会の告知等を行う広報誌「フレッシュおおいずみ(町内全世帯及び関係機関、団体に配布)」を隔月刊（奇数月発行）にて発行します。

幅広い世代の方にご覧いただけるよう、教室案内のみではなく、利用者の声や各種大会結果等も掲載します。

紙媒体のほか、ホームページやSNSを活用した事業PR等、現代の情報環境に適した情報発信システムの効果的利用と、計画的な情報掲載に努めます。



- 発行部数：町内全世帯及び関係機関、団体に配布＝16,500部／隔月

イ ホームページの運営

【指定管理事業】

日本で開催された東京オリンピックに続き、今年の7月にはフランスでパリオリンピックが開催されるため、スポーツ機運を盛り上げるためにも、関連情報などを引き続きホームページやエックスを活用し発信します。

また、大泉町トップアスリートの紹介や大泉町関連企業のスポーツチーム情報、各種スポーツ教室やイベント案内、施設貸出に関する情報の提供などの取り組みも継続して行い、スポーツの盛り上がりや利用促進につながるよう努めます。



- 事業団ホームページURL = <https://www.bunkamura.or.jp/>

(3) スポーツ活動の支援【公益目的事業】

ア 振興発展のための後援事業

【振興事業（補助金事業）】

地域のスポーツ大会や教室の後援を行い、優勝メダルの提供や大会等の受付業務の代行、告知などを行います。

イ 大泉町・地域スポーツ大会等協力

地域スポーツ大会等の開催準備、実施協力を行います。

No	期 日	事 業 名	内 容
1	6月	地域公民館スローピッチ・ソフトバレー大会	開催準備、実施協力
2	6月	高齢者・身障者スポーツ大会	開催準備、実施協力
3	7月	大泉まつり	開催準備、実施協力

4	10月	町民体育祭	開催準備、実施協力
5	11月	河川清掃	開催準備、実施協力
6	12月	スポーツ少年団交流大会	開催準備、実施協力
	その他	秋季検閲、ポンプ操法、プール利用券配布、 体育協会主催事業 等	施設整備、備品貸出等協力予定

(4) スポーツ団体の助成及び育成【公益目的事業】

【振興事業（補助金事業）】

ア トップアスリート支援指定

大泉町トップアスリート支援指定基準により助成金を支出し、大泉町出身の選手の輩出及び、町を挙げての支援によるオリンピックなどの国際大会の盛り上がりと町の賑わいの創出を図ります。

イ スポーツ団体育成・強化指定

スポーツ団体育成指定基準により助成金を支出し、スポーツの振興、選手の育成に積極的に取り組み、向上・発展に貢献できる団体を育成します。また、スポーツ団体指定基準により助成金を支出し、スポーツの向上・発展に貢献したと認められる団体の更なる強化を図ります。

ウ 大会等出場援助

大会等出場援助基準により、大会に出場する個人・団体に助成金を支出し、経費負担の軽減を図ります。

(5) スポーツ活動拠点の運営【公益目的事業】

ア 概要及び具体的な取り組み等

【指定管理事業】

町有スポーツ施設指定管理等事業として、大泉町有料公園施設（運動施設）の管理業務（町民体育館、ワカキヤ大泉町民野球場、ワカキヤいずみサッカー場、ゲートボール場、南公園、御正作公園、スバル運動公園）と大泉町社会体育施設の管理業務（西体育館、とね運動場）を行い、また学校体育施設及び大泉町地域交流センターの一般開放に関する施設の貸出し及び照明使用料の収納事務を行います。

● 施設のサービス・魅力向上に向けた改善

- ・より質の高いトレーニングができるよう利用者個別にトレーニングメニューを作成し、トレーニング室利用者の増進を目指します。

● 安全安心な管理運営

- ・安全を最優先にした組織体制により防犯、防災、事故等の未然防止にあたり、誰もが安心して施設利用ができるような管理運営を行い、また設備の長寿命化と修繕コストの削減に努めます。

文 化

■ 文化関係の特記事項

取 り 組 み 内 容
各種経費が高騰する中、主催・共催事業については「宝くじ文化公演」等外部資金の有効活用や、出演者との契約内容の見直し等により、限られた予算内での効果的な事業運営を目指します。
エネルギー費用の高騰による節電対策の強化や、万一災害が発生した場合、避難者を安全に受け入れるための研修や訓練に力を入れてまいります。

■ 事業概要

(6) 文化の創造及び推進・(7) 文化活動の協働及び創造性を育む機会の提供【公益目的事業】

ア 鑑賞事業

本物の芸術文化に触れる「感動」の場として、個性的で質の高い事業の提供を目指し取り組んでいます。大ホールにて開催する「古澤巖ヴァイオリンの夜」や「ファミリーコンサート」、小ホールのスケール感を活かした「ジャズ・ピアノライブ」や「朝のコンサート」等、施設の特徴を活かしつつ、各世代に向けた、大泉ならではのプログラムを企画しています。

特に令和6年度は、宝くじ文化公演「群馬交響楽団コンサート」を実施し、外部資金の獲得による内容の充実を図ります。

【自主事業（指定管理事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	5月 10月	朝のコンサート（全2回）	令和4年度より開始した、本町出身のピアニスト・志村和音氏のプロデュースによる、朝の時間帯を活用した新スタイルのコンサート。毎回新たな試みが織り交ぜられ、リピーターでも飽きのこない継続事業。
2	10月 3月	古澤巖ヴァイオリンの夜 in 文化むら 第33期シリーズ Vol.1 オータム・パーティー Vol.2 スプリング・パーティー	33年目となるヴァイオリニスト古澤巖のコーディネートによる人気コンサートシリーズ。年度内2公演を予定。
3	10月	宝くじ文化公演／群馬交響楽団コンサート ジブリ音楽特集（仮） （共催：一般財団法人自治総合センター、 大泉町教育委員会）	宝くじの収益金を原資とした社会貢献活動の一環として「自治総合センター」が進める制度を活用して取り組む助成事業。外部資金導入による充実した内容の公演開催を目指す。
4	1月	文化むら ファミリー・コンサート	町立各児童館の保護者組織である“母親クラブ”を母体とする“地域活動連絡協議会”との共催にて実施する、ファミリー向け事業。
5	未定	ジャズ・ライブ	10年以上続いた川島潤一氏のジャズ・シリーズ終了を受け、後に続く新たなジャズライブを展開していく。

イ 参加事業

利用者も含めた多くの町民が参加できる「ふれあい」の場として企画し、同時に交流を深め、相互の文化活動が励起し合うような相乗効果の活性化を図っています。地域住民が計画的に参加できるよう、継続的に取り組む事業が中心となります。

【自主事業（指定管理事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	9月	文化むらダンス・フェスタ 2024	「一般」と「キッズ」のダンス・フェスタを統合し「文化むらダンス・フェスタ」として1日間で開催する。普段の練習の成果を、本格的な音響・照明のステージで披露してもらう。

【振興事業（補助金事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
2	5月	第16回 文化むらピアノマラソン	文化むらが備える「スタインウェイ」「ベーゼンドルファー」「チェンバロ」を大ホールステージで演奏する機会を提供し、楽器と施設により一層親しんでもらう事を目的に、2日間開催する。
3	11月	第28回大泉町合唱祭	町内を拠点に活動する合唱サークル、高校・専修学校の学生、町内中学校の校内合唱コンクール最優秀クラス、小学生のグループなど幅広い年齢層による演奏会。
4	未定	うたごえ喫茶・新宿ともしび 出前コンサート 2024	かつての“うたごえ喫茶”の中心的存在であった「喫茶ともしび」のスタッフが、専用の「歌集」を携えて全国にうたごえコンサートを出前する企画。シニア世代に流行したヒット曲を中心に、ステージと客席が一体となって歌を楽しむ空間を提供する。

ウ 創造育成事業

教室事業や「独創性の高いオリジナル事業」の制作に、文化団体や演奏家、利用団体などと協働で取り組む「創造」の場を提供することにより、地域文化の発展と文化振興を担う人材の育成に取り組んでいます。

【自主事業（指定管理事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	4月～3月	大人のための初心者ヴァイオリン合奏教室 (全44回)	高校生以上の一般の希望者を対象に、1年間楽器を貸出し、演奏を体験してもらう講座。25名を募集、プロの演奏家の指導によりグルーブレッスンで楽しく練習し、講座の最終日には大ホールで修了演奏会を実施。

2	3月	邑楽館林吹奏楽連盟 第37回新人演奏会 共催：邑楽館林吹奏楽連盟	邑楽館林地区の中学・高校の吹奏楽部員1～2年生による合同の演奏会。相互の演奏に触れることにより、活動の一層の活性化を目指す。一般の吹奏楽団も参加して開催される。
3	未定	meeting point doux+ 共催事業	地元合唱団が、青島広志氏およびプロ歌手と共に、楽しいトークや様々な演出つきの参加型ステージを繰り広げる。

【振興事業（補助金事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
4	12月	クリスマス・ウインド・ フェスティバル2024	町内3中学校の吹奏楽部が合同で、文化むら大ホールを会場に取り組みクリスマス・コンサート。普段の活動成果を広く地域住民に発表する場を設け、活動の活性化を目指す。
5	3月	群響楽器セミナー 共催：(公財)群馬交響楽団	町内3中学校の吹奏楽部員を対象に、群馬交響楽団員が直接楽器演奏の指導を行うセミナー。プロの指導により演奏技術の向上を図る。講師派遣に係る経費については群響側の負担で開催できる。

エ アウトリーチ・その他事業

施設内の活動にとどまらず、文化むら等の施設に足を運ぶことが困難な方々や機会がなかなか持てない方々のところへ出向き、質の高い芸術文化鑑賞の機会の提供に取り組んでいます。また、県内施設においても「避難訓練コンサート」への取り組みをいち早く開始し、数百人単位の対象者を効率的かつ安全に避難させるノウハウの構築に取り組んでいます。

【自主事業（指定管理事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	未定	文化むら避難訓練コンサート	職員のみで行っている法定の消火・避難誘導訓練に対し、実際の公演において、多くの観客を安全に誘導する為のスキルを定着させる事を目的に、本番のコンサートに来場した一般客に協力を求めながら実施する訓練。

【振興事業（補助金事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
2	未定	訪問コンサート	文化むら以外の場所にアーティストを派遣し、広く地域住民に芸術活動を体験してもらう機会を提供する出張・訪問型事業。

(8) 文化の情報等の収集及び提供 【公益目的事業】

ア 広報誌「フレッシュおおいずみ」の発行

【振興事業（補助金事業）】

地域文化活動の活性化を目的とし、地域における各種文化活動に関する情報の告知等を行う広報紙「フレッシュおおいずみ（町内全世帯及び関係機関、団体に配布）」を隔月刊（奇数月）にて発行します。

ホームページやSNSとの連携により、より現代の情報環境に適した情報発信システムの確立に努めます。

- 発行部数：町内全世帯及び関係機関、団体に配布＝16,500部／隔月



イ ホームページの運営

【指定管理事業】

コロナ禍においては従来のチラシ等「紙媒体」を使ったPRが困難な状況が続き、各種情報の提供はホームページ等の電子データ化が大きく進みました。

従来の文書や写真による宣伝に加え、動画や音楽ファイルを素材として活用する事ができる点を活用し、紙媒体をはるかに凌ぐ情報量を効果的に発信する事が可能となっています。

また、エックスやメールマガジン等を活用したタイムリーかつ能動的な情報発信、QRコードを活用した紙媒体との連携や、YouTubeの文化むら公式チャンネルを通じての動画配信等、それぞれの長所を活かした多層的な情報発信に努めています。

- 事業団ホームページ URL =<https://www.bunkamura.or.jp/>



(9) 文化活動の支援 【公益目的事業】

ア 振興発展のための後援事業

【振興事業（補助金事業）】

- ・地域の文化事業の後援を行い、優勝メダルの提供や事業の告知などを行います。

イ 大泉町・地域文化事業等の協力

- ・地域の文化事業（文化協会主催事業・地域公民館連絡協議会主催事業・公民館利用サークル連絡協議会主催事業等）の開催協力（舞台照明・音響の制作やオペレート等）を行います。
- ・地域の文化活動に必要な各種物品（ポータブルアンプ、無線機等）の貸出を行います。

(10) 文化団体の助成及び育成 【公益目的事業】

【振興事業（補助金事業）】

ア コンクール等参加に対する助成

大会等出場援助要綱により、大会に出場する個人・団体に助成金を支出し、経費負担の軽減を図ります。

イ 文化団体育成・強化指定

文化団体育成指定要綱により助成金を支出し、文化の振興、育成に積極的に取り組み、向上・発展に貢献できる団体を育成します。また、文化団体強化指定要綱により助成金を支出し、文化の向上・発展に貢献したと認められる団体の更なる強化を図ります。

ウ 文化事業支援

文化事業支援要綱により助成金を支出し、町民を対象に文化事業を実施する団体を支援します。

(11) 文化活動拠点の運営 【公益目的事業／収益事業】

【指定管理事業】

ア 概要及び具体的な取り組み等

町有文化施設指定管理等事業として、洋泉興業大泉町文化むらの管理業務を行います。

● 施設管理運営方針

- ・第5期指定管理申請時に掲げたコンセプトに基づき、「公平」で、「安全安心」に、「温もりを感じられる」、「だれでも利用しやすい」、「また来てみたい」と思う施設運営に努めてまいります。
- ・災害発生のリスクが高まってきている昨今、文化むらは避難場所としての役割をもつ施設でもあり、その役割を十分に発揮できるように、研修や訓練に力を入れてまいります。

法人運営

【補助金事業】

ア 理事会・評議員会

公益法人として社会からの信頼に応えるため、理事会、評議員会などの各機関の役割や責任を果たし、ガバナンスの確保や体制づくり、法人運営や事業の透明性、コンプライアンスに対して積極的に取り組み、新公益制度改革の目的とされている「自己責任」と「自主・自律性」に基づいた運営を行ってまいります。

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	5月 8日 (水)	監査会	令和5年度監査
2	5月15日 (水)	定時理事会	令和5年度事業報告及び会計決算
3	5月30日 (木)	定時評議員会	令和5年度事業報告及び会計決算
4	11月13日 (水)	理事会	未 定
5	2月12日 (水)	理事会	令和7年度事業計画及び会計予算
6	2月20日 (木)	評議員会	令和7年度事業計画及び会計予算

イ 人材マネジメント

当事業団の経営理念を具現化するため、令和5年度は人材育成、職員採用、人事評価の軸となる「事業団人事ポリシー」を定めました。また、職員採用の募集要項に人事ポリシーを掲載し、一定の成果を得ることができました。スポーツ・文化の専門組織として実践力のあるプロを育成し、多角的・多様性に対応できる「理」と「情」を知る人材マネジメントを遂行するため、外部研修や資格取得を中心にオンラインセミナーや内部研修も計画的に進めてまいります。

NO	研 修 名	予 定 月	内 容
1	接客研修	1月	ビジネスマナー、クレーム対応など
2	軽スポーツ講習会	4月	新たな軽スポーツを体験し、事業展開に生かす
3	人権研修	10月	町ぐるみ人権教育推進大会
4	ユニバーサルサービス研修	2月	意識と知識を養い業務運営に生かす
5	P D C A 研修	3月	業務運営の中核となるPDCAサイクルを学ぶ
6	コンプライアンス C S R 研修	8月/3月	コンプライアンスと環境啓発を学ぶ
7	自主事業研修 プログラム研修	年1回 時期未定	事業担当者育成の専門セミナー
8	舞台技術/ 貸館業務研修	年1回 時期未定	舞台、管理担当者の専門セミナー
9	協働のまちづくり 関係研修	年1回 時期未定	大泉町主催の協働まちづくりセミナー
10	責任者研修 マネジメント研修	年4回	責任者としての資質向上、組織・戦略・財務管理などのマネジメントを学ぶ

● その他の研修・資格取得等

- ① 階層別研修(新人・係長・課長)
- ② 経営に関する研修(経営戦略、組織変革に向けたリーダーシップ、人材育成)
- ③ 総務関係(公益会計基準、労務、公社債など)
- ④ スポーツ関係(スポーツ施設管理士、スポーツ指導、防災士資格など)
- ⑤ 文化関係(公文協主催アートマネジメント、技術研修、防災士資格など)

ウ 環境整備

果実を大きくするためには、ぐらつかない強く栄養豊富な木が必要です。そのためには土の中に太くしっかりした根を張り巡らせなければなりません。同様に地域に根差す当事業団がしっかりと根を張らすために、きめ細かな環境を整える必要があります。お客様に満足していただくという、果実を大きく成熟させるために物的環境整備、人的環境整備、情報環境整備の取り組みを行います。

NO	項目	予定月	内容など
1	ミッション経営 の実施	通年	毎日の朝礼にて「基本理念」、「経営理念」や「行動指針」を全員で読上げることにより、職員一人ひとりの肚に「使命感」を落とし込み、理念に基づいた経営を目指す。
2	働き方改革	12月/3月	片づけチェック実施(効率的事務の推進)やOJTにて学ぶことで、業務の効率化を図る。
3	個別面接	6月/11月	人事評価システムを通じ、上司と部下のコミュニケーションを図り、士気高揚、活力を生み出し、風通しのよい職場づくりを目的に行う。
4	リスクマネジメント 勉強会 ～組織的な危機管理～	9月	施設管理や振興事業を遂行する上でリスクは付きものです。顕在化する前に回避または、被害が最小限に抑えられるように、また、組織的に管理するための勉強会として実施。
5	安全研修	4月/6月/9月/2月	町民体育館・文化むら施設ごとに実施し有事に備える。【避難誘導、消火、参集、AED取扱訓練】
6	個人情報保護 情報セキュリティ研修	8月/1月	法令遵守を基本に個人情報取扱いの認識を高める。

エ 財務管理

公益法人として求められる経理的基礎の充実に向け、基礎能力の底上げに取り組んでまいります。事業計画、予算の進捗管理、決算の経営分析による経営の安定化を図ってまいります。最近ではオンラインによる研修が増え、手軽に受講できますので、若手職員を中心に公益会計や経理、また、経営や財務に関する知識の習得に努めてまいります。

NO	項目	予定月	内容など
1	公益法人会計・簿記・経理セミナー	未定(適宜)	会計システム業者主催等のセミナー参加によって、若手職員は基礎的な簿記や経理を学ぶ。また、ベテラン職員は公益法人会計をより理解できるようにより深く学び法人運営に活かす。
2	公社債運用セミナー	未定	公社債基礎研修などに参加することによって、事業団が保有する基本財産の運用、債券や預金について学び法人運営に活かす。
3	次年度事業計画及び予算作成	7月～10月	7月、8月振興事業、施設管理担当者とヒアリング 9月、10月中身を精査し最終調整
4	予算・振興事業の進捗管理	毎月	月次試算表や事業評価シートによる進捗管理及び経営分析